

2026 年 8 月 26 日

鈴与システムテクノロジー株式会社

静岡鉄道株式会社

静岡の現場を知る、企業とまざる。 ファクハクを起点とした地域共創型プログラムを開催

鈴与システムテクノロジー株式会社（本社：静岡市清水区、代表取締役社長：林田敏之）と静岡鉄道株式会社（本社：静岡市葵区、代表取締役社長：川井敏行）は、静岡のものづくり企業を舞台とした「ものづくり企業フィールドワーク」を開催します。

本プログラムは、地域企業 9 団体の若手社員 15 名（平均年齢 26 歳）が実際のものづくり企業を訪れ、その魅力や強み、課題への理解を深めながら、業種や企業の垣根を越えて対話し、5 年後の未来と「ファクハク（静岡工場博覧会）」の活用可能性を考える共創型プログラムです。地域に根ざしたものづくり企業の現場を訪れ、その魅力や課題に触れる体験を通じて地域への理解を深めるとともに、企業や業種の枠を超えた協働により、新たな視点や気づきを得ることを目指します。

※ファクハク（静岡工場博覧会）とは

静岡県内のものづくり企業が工場や作業現場を一般公開し、地域住民や来場者との交流を通じて、ものづくりの魅力を発信するオープンファクトリーイベントです。

主催：静岡工場博覧会実行委員会 URL：[ファクハク・静岡工場博覧会](https://fakuhaku.com/) <https://fakuhaku.com/>

【開催の背景】

静岡県は全国有数のものづくり集積地である一方、企業同士や異業種間で学び合い、未来を共に考える機会は決して多くありません。本フィールドワークでは、

- 静岡のものづくり企業を知る
- 企業や立場を超えてまざる
- 未来を共に描く

をテーマに、ファクハクを題材として新たな共創の可能性を探ります。

【目的】

- 静岡のものづくり産業への理解を深める
- 異業種間の相互理解と関係構築を促進する
- 5 年後の未来とファクハクの活用可能性を検討する
- 地域企業間の新たな共創機会の創出を目指す

【プログラムの特徴】

1. 現場から考える

参加者は工場見学や現場社員との対話を通じて、ものづくり企業への理解を深めます。

2. 異業種混成チーム

業種や企業の垣根を越えたチーム編成により、多様な視点や発想を掛け合わせます。

3. 未来志向

単なる見学で終わらず、5年後の未来から逆算してファクハクの活用可能性を検討します。

4. 地域共創

受入企業と参加企業が共に未来を考え、新たな関係づくりや連携のきっかけ創出を目指します。

【概要・日程（予定）】

DAY1 現場を見る：2026年8月28日（金）9:00～17:00

会場 村田ボーリング技研(株) 静岡市駿河区北丸子1丁目30-45

DAY2 未来を描く：2026年9月3日（木）9:00～17:00

会場 静岡ガス(株) 研修センター 静岡市駿河区池田28

DAY3 機会活用を考える：2026年9月18日（金）14:00～18:00

会場 鈴与システムテクノロジー(株) 静岡市清水区中之郷2-1-5 4F

DAY4 発表・振り返り：2026年10月30日（金）13:30～18:00

会場 M20 Anchor (15F) 静岡市葵区御幸町20番地

■参加企業・団体 ※五十音順で掲載しています

株式会社エル・ティー・エス、株式会社すみや電器、静岡ガス株式会社、静岡ガスクレジット株式会社、静岡市、静岡市地域おこし協力隊、静岡新聞・SBS、静岡鉄道株式会社、鈴与システムテクノロジー株式会社

■受入・訪問企業

今泉鋳造株式会社、株式会社前六商店、村田ボーリング技研株式会社、豊樹脂工業株式会社

■協力

伊豆川飼料株式会社、静岡工場博覧会「ファクハク」実行委員会

鈴与システムテクノロジー株式会社と静岡鉄道株式会社は、本フィールドワークを通じて、静岡が誇るものづくり産業の魅力や強みへの理解を深めるとともに、企業や業種の垣根を超えて人と人が“まざる”ことで、新たな共創や地域価値の創出につなげてまいります。

以上

※取材いただける場合は、事前に下記までご連絡いただけますよう、お願い申し上げます。

<お問い合わせ>

鈴与システムテクノロジー株式会社

・経営企画部 粥川（かゆかわ）

TEL：090-2615-0064

・ビジネスデザイン部 井上

TEL：090-1545-9450

URL：<https://www.sst-web.com/>

代表：054-348-9100

静岡鉄道株式会社

・人事部 潟中（かたなか）

TEL：054-254-5112

URL：<https://www.shizutetsu.co.jp/>

代表：054-254-5111